

2014年3月期 決算説明会

2014年5月8日
NECネットエスアイ株式会社
(銘柄略称: NESIC 銘柄コード: 1973)
執行役員社長 和田 雅夫

- I. 2014年3月期 実績概要**
- II. 2015年3月期 業績予想**
- III. 中期経営計画の進捗状況**

I . 2014年3月期 実績概要

■ 受注・売上、利益共に過去最高の業績を達成

(単位:億円)

	13/3期	14/3期	前期差/比	前回予想値 (1月30日)
受 注 高	2,413	2,801	+16%	-
売 上 高	2,357	2,703	+15%	2,600
営 業 利 益 (営業利益率)	125 (5.3%)	144 (5.3%)	+19 0.0pt	140 (5.4%)
当 期 純 利 益 (当期純利益率)	72 (3.1%)	83 (3.1%)	+10 0.0pt	83 (3.2%)
R O E	8.8%	9.6%	+0.8pt	
フリー・キャッシュ・フロー	△52	178	+230	

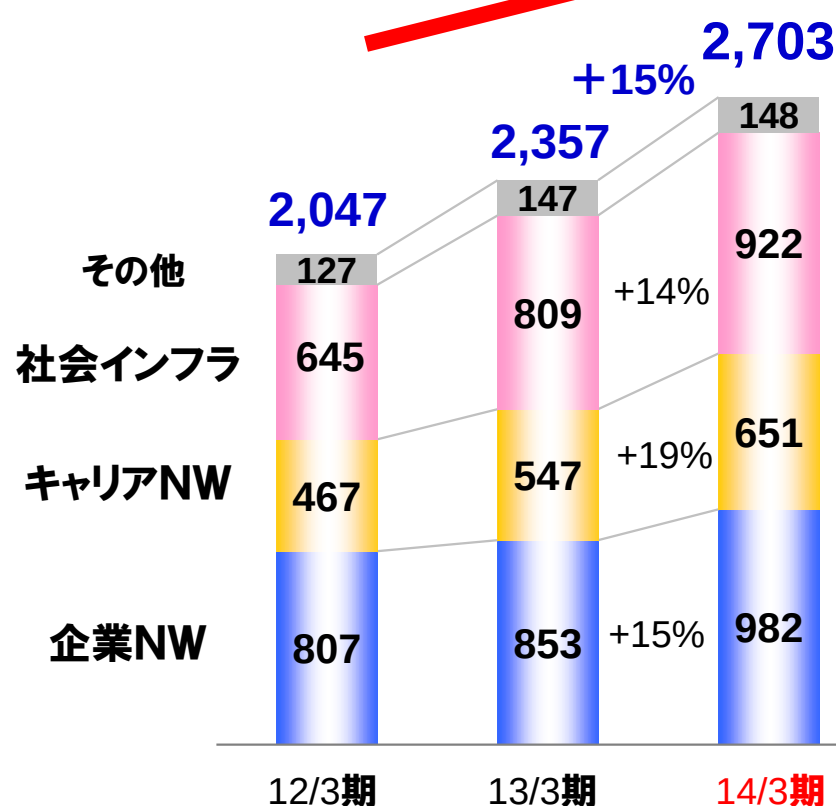
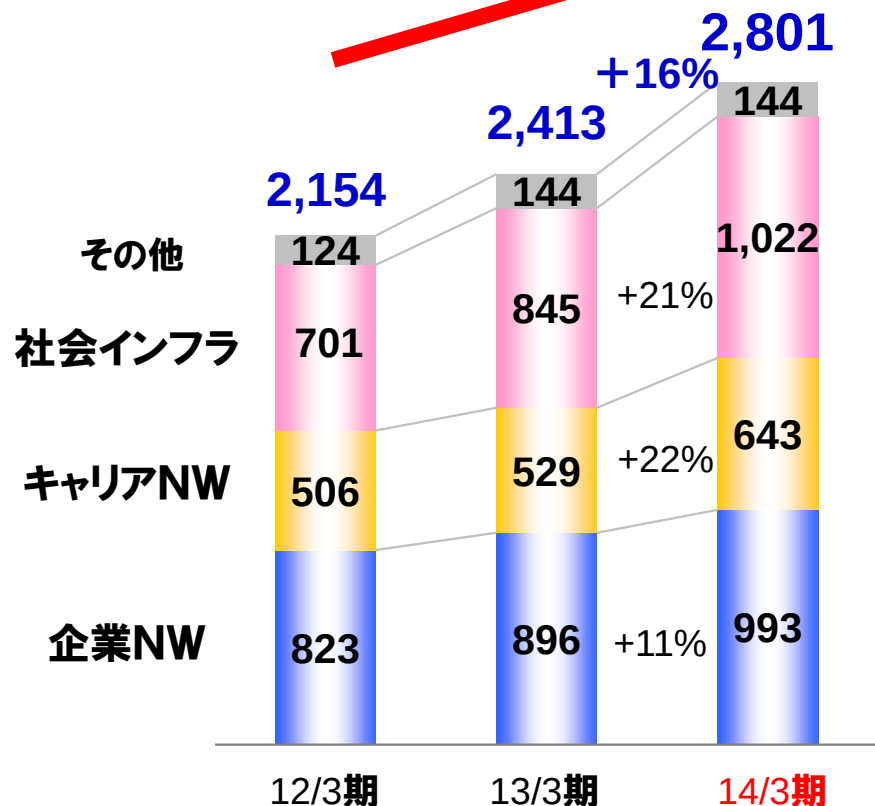
2014年3月期 セグメント別受注高／売上高

社会インフラの拡大に加え、M & Aも業績に寄与し、
主要3セグメントで、受注・売上2桁成長を実現

受注高

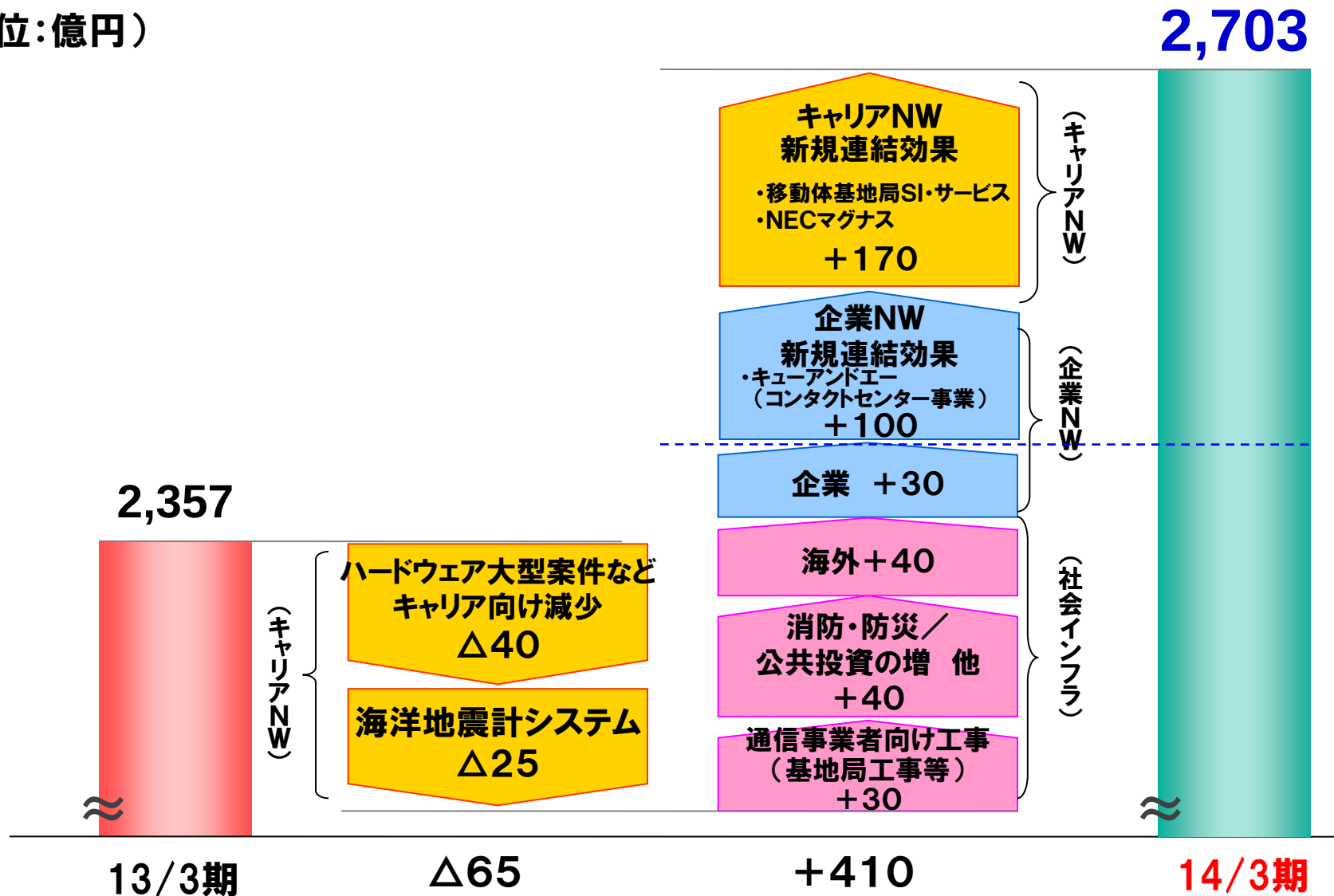
売上高

(単位:億円)



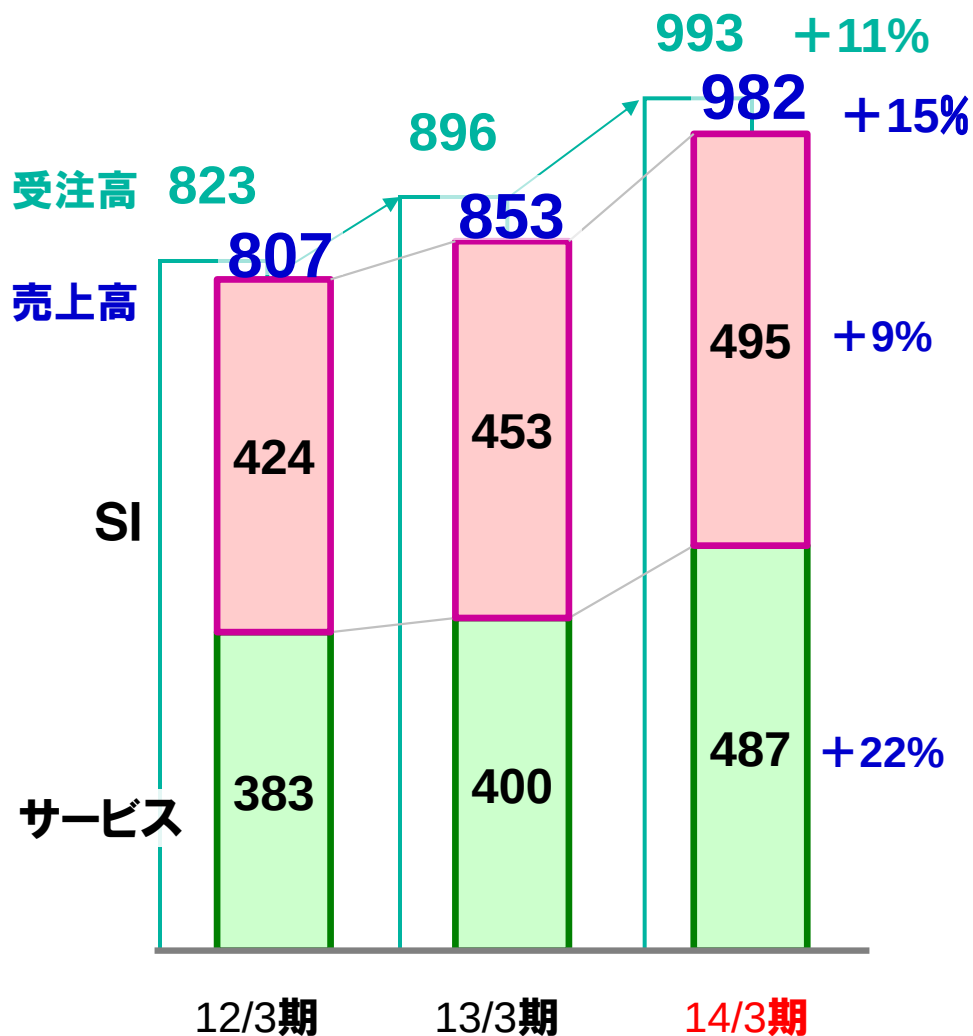
2014年3月期 前年差異要因(売上高)

(単位:億円)



2014年3月期 企業ネットワーク事業

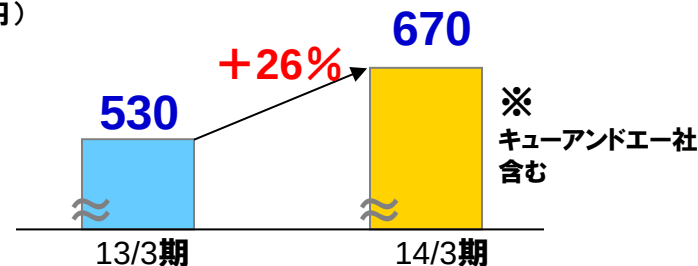
(単位:億円)



EmpoweredOffice事業が 続伸し、2桁成長を実現

EmpoweredOffice事業 売上高

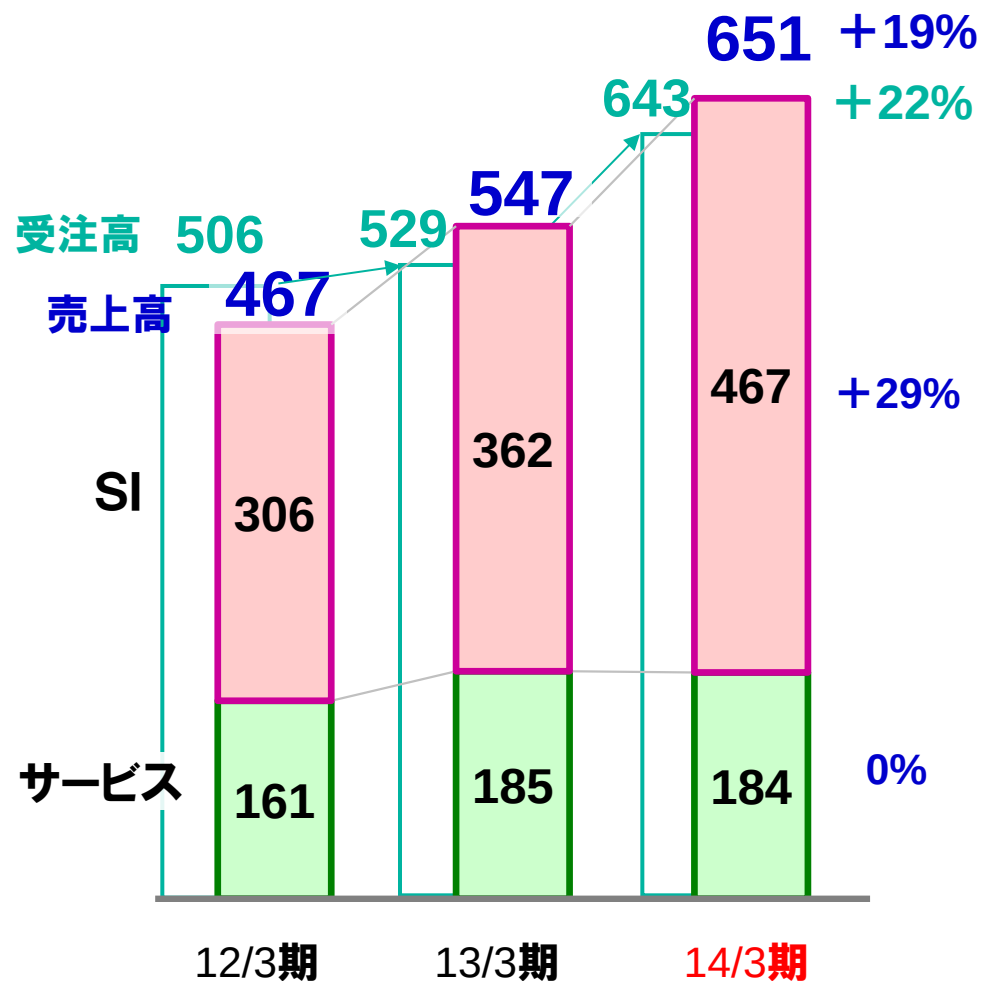
(単位:億円)



- オフィス移転需要に積極対応
- 地域企業、自治体向け取組み強化
 - ・ 地域拠点のEO化を推進(10箇所)
> 日経ニューオフィス賞を受賞
- キューアンドエーのM & Aによりサービス事業を拡大
 - ・ 個人向け技術サポート
> BtoBtoCへ事業領域拡大

2014年3月期 キャリアネットワーク事業

(単位:億円)



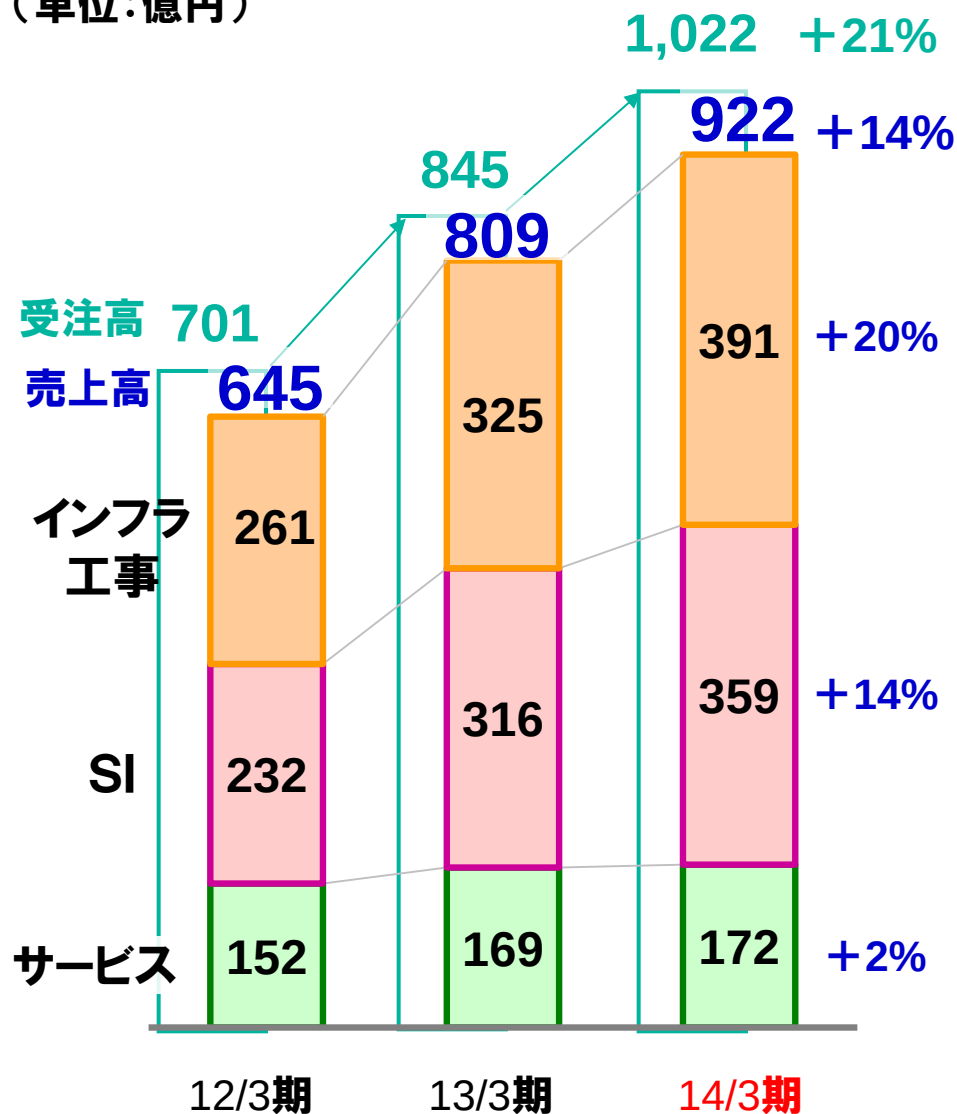
前年度の大型案件※および トラフィック対策需要の影響 あるも受注・売上大幅増

※ハードウェア案件、海洋地震計システム

- M & Aが業績に寄与(+170)
 - ・移動体基地局SI・サービス事業
※旧NECモバイルリングからの承継
 - ・NECマグナスコミュニケーションズの買収(下期)
- テクニカルアウトソーシング事業は着実に拡大(+5%)
 - ・通信事業者の上流工程への拡大
 - ・海外ベンダーの品質管理業務 等

2014年3月期 社会インフラ事業

(単位:億円)



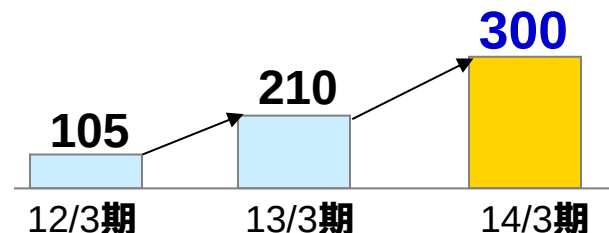
受注・売上とも大きく伸張

● 公共投資の増加を着実に取込む

- ・消防・防災システム事業は、前倒しの影響もあり、受注好調

消防・防災 受注実績

(単位:億円)



- ・災害時に有効な衛星通信網の整備等

● 基地局工事関連は増加

- ・プラチナバンド基地局工事は上期でピークアウト

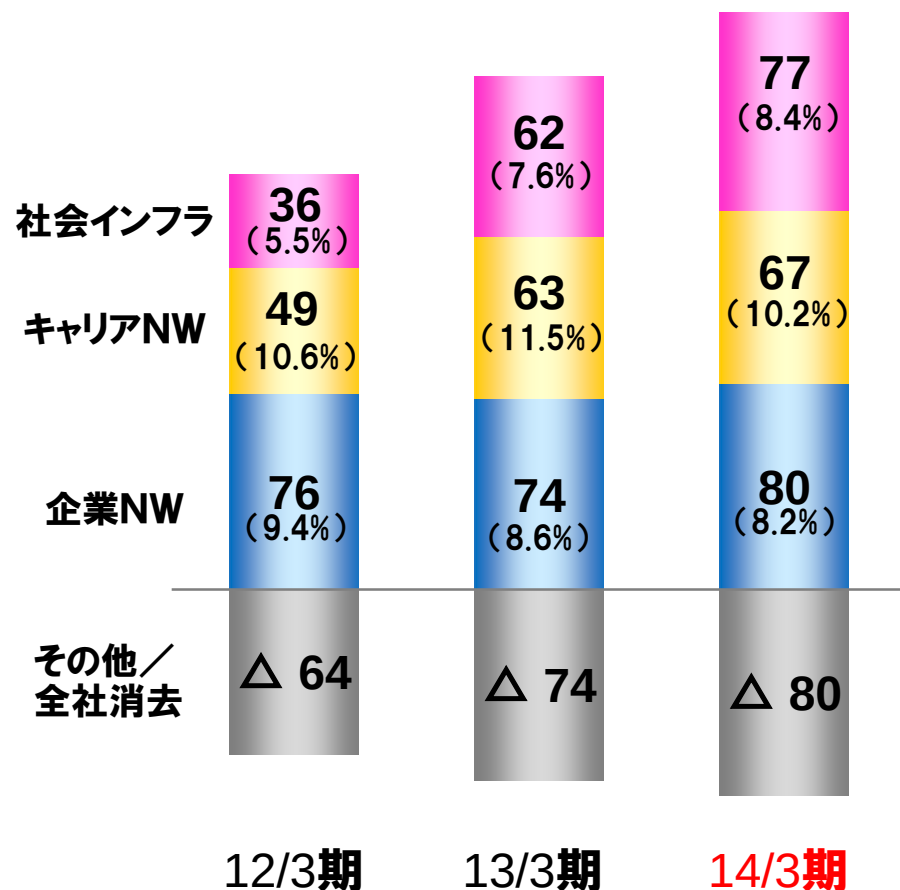
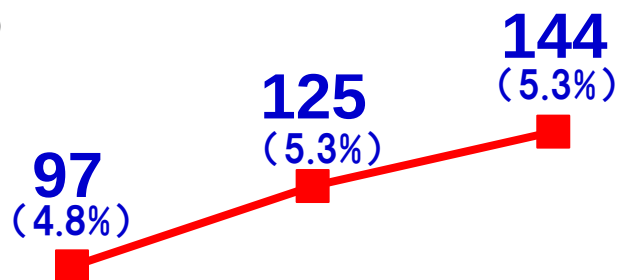
● 海外インフラ事業が拡大

- ・タイ: 3G通信網工事
- ・サウジアラビア: 石油プラント向け通信工事

2014年3月期 セグメント別営業損益

(単位:億円)

合 計



過去最高益を達成

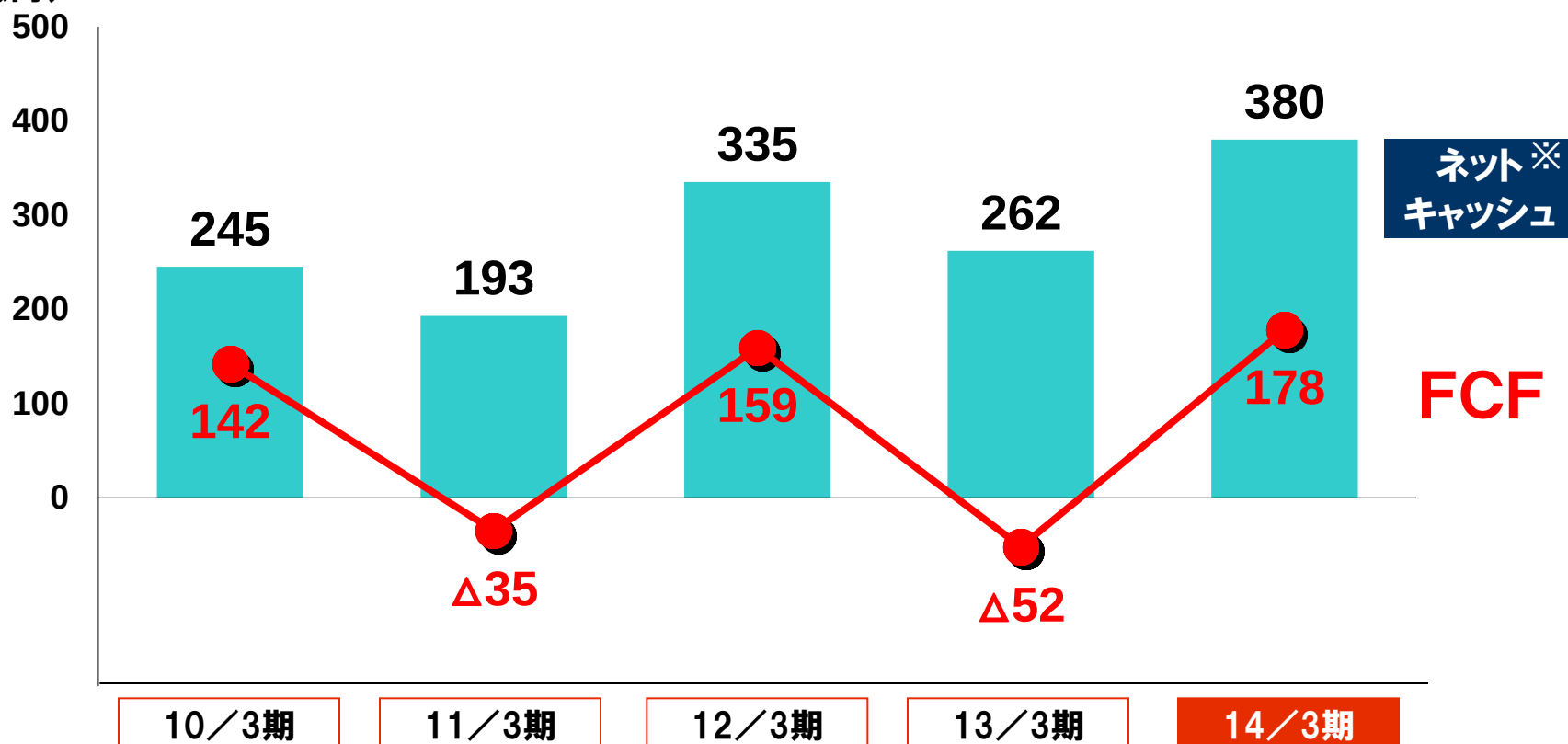
～主要3セグメントで利益成長を実現

- 企業ネットワーク
 - ・売上増により増益
- キャリアネットワーク
 - ・M & A効果および内製化努力などにより増益
- 社会インフラ
 - ・売上増および原価率改善により大幅な増益
- その他／全社消去
 - ・SCM拠点の強化および支社支店のEO化推進費用が増加

2014年3月期 キャッシュ・フロー

前年度売上の大型プロジェクトの回収により、
収支は大幅プラス

(単位:億円)



※ネットキャッシュ=現金および現金同等物－借入金

2014年3月期(14年3月末) バランスシート

**M & Aによる総資産増と会計制度の改正に伴い
自己資本比率は低下も、強固な財務基盤を維持** (単位:億円)

			13年3月末	14年3月末	増 減
		現金及び現金同等物	303	444	141
		受取手形及び売掛金	923	960	36
		たな卸資産	104	82	△22
		その他流動資産	81	88	6
	流動資産合計		1,412	1,574	162
	固定資産合計		263	317	54
	資産合計		1,675	1,891	216

		買入債務	364	432	68
		借入金	41	64	23
		その他負債	410	503	93
		負債合計	815	999	184
		株主資本合計	857	912	55
		その他の包括利益累計額	△5	△37	△32
		少数株主持分	7	17	9
		純資産合計	860	892	32
	負債純資産合計		1,675	1,891	216

自己資本比率			50.9%	46.3%	△4.6pt
--------	--	--	-------	-------	--------

II. 2015年3月期 業績予想

**消費増税の影響等の懸念はあるが、
アベノミクス効果などにより、足元の事業環境は堅調**

●企業ネットワーク

- ・国内のICT投資は、景気回復による本格化には至らぬも、緩やかな回復を期待

●キャリアネットワーク

- ・トラフィック対策は高水準で継続すると見られるものの、機器・保守等含めた投資額全体としては不透明。
- ・海外ベンダー活用ニーズは継続的に拡大

●社会インフラ

- ・消防・防災等の安心・安全をテーマとした公共投資の継続に期待
- ・基地局設置はLTEが拡大も、プラチナバンドの反動あり

増収増益を着実に継続する

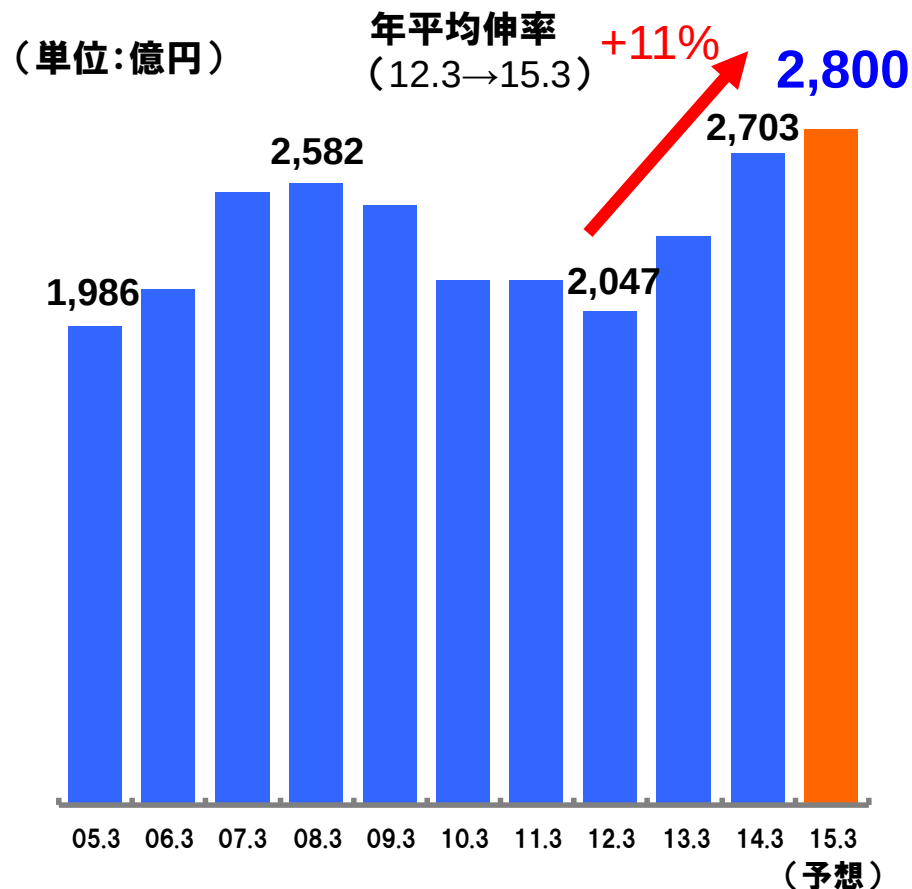
(単位:億円)

	14/3期 実績	15/3期 予想値	前期比／差
売上高	2,703	2,800	+4%
営業利益 (営業利益率)	144 (5.3%)	150 (5.4%)	+6 +0.1pt
当期純利益 (当期純利益率)	83 (3.1%)	90 (3.2%)	+7 +0.1pt

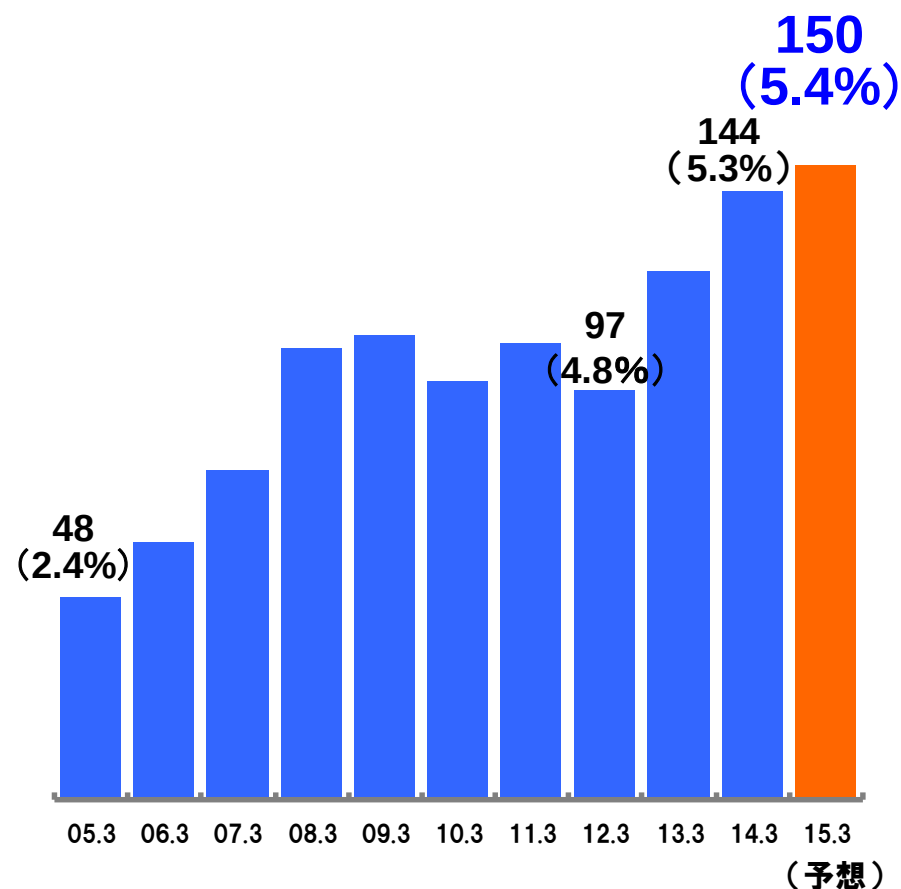
(※予想値は、2014年4月28日現在)

売上・利益ともに過去最高の更新を目指す

売上高



営業利益(率)



トップラインの拡大

● 企業ネットワーク

- ・ 地域展開を含めたEO事業の成長加速
- ・ SCM基盤やコンタクトセンター基盤などの共通事業基盤を活用したサービス事業拡大

● キャリアネットワーク

- ・ テクニカルアウトソーシング事業を軸としたキャリアマーケット深耕
- ・ NECマグナスとのシナジーによる事業拡大・効率化推進

● 社会インフラ

- ・ 公共事業投資の積極的な取込み(消防・防災、国土強靱化、環境等)

収益性の強化

● 原価改革の取組み加速

- ・ 内製化による外注費削減、集中集約による資材費低減 等
- ・ 共通事業基盤の活用による効率化

● SGAの効率化

■ コンプライアンス最優先の事業遂行

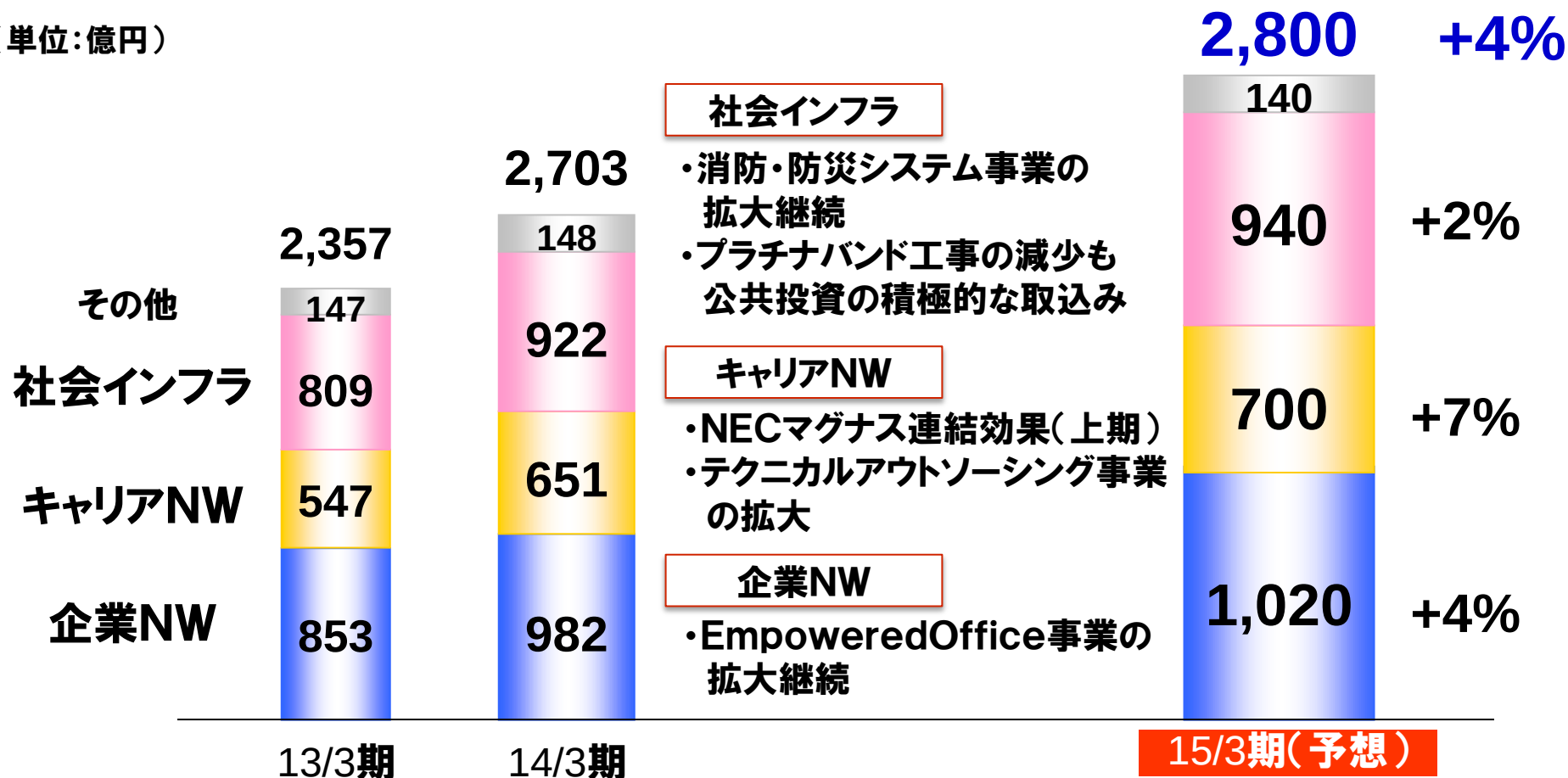
◆ グループ全体のコンプライアンス強化策を 着実に実行中

- 経理・財務プロセスの見直し
- グループとしての人事ローテーション
- コンプライアンス教育強化
- 内部監査および監査法人による監査の強化
- グループ経営の強化

2015年3月期 業績予想(セグメント別売上高)

主要セグメントで着実に増収を図る

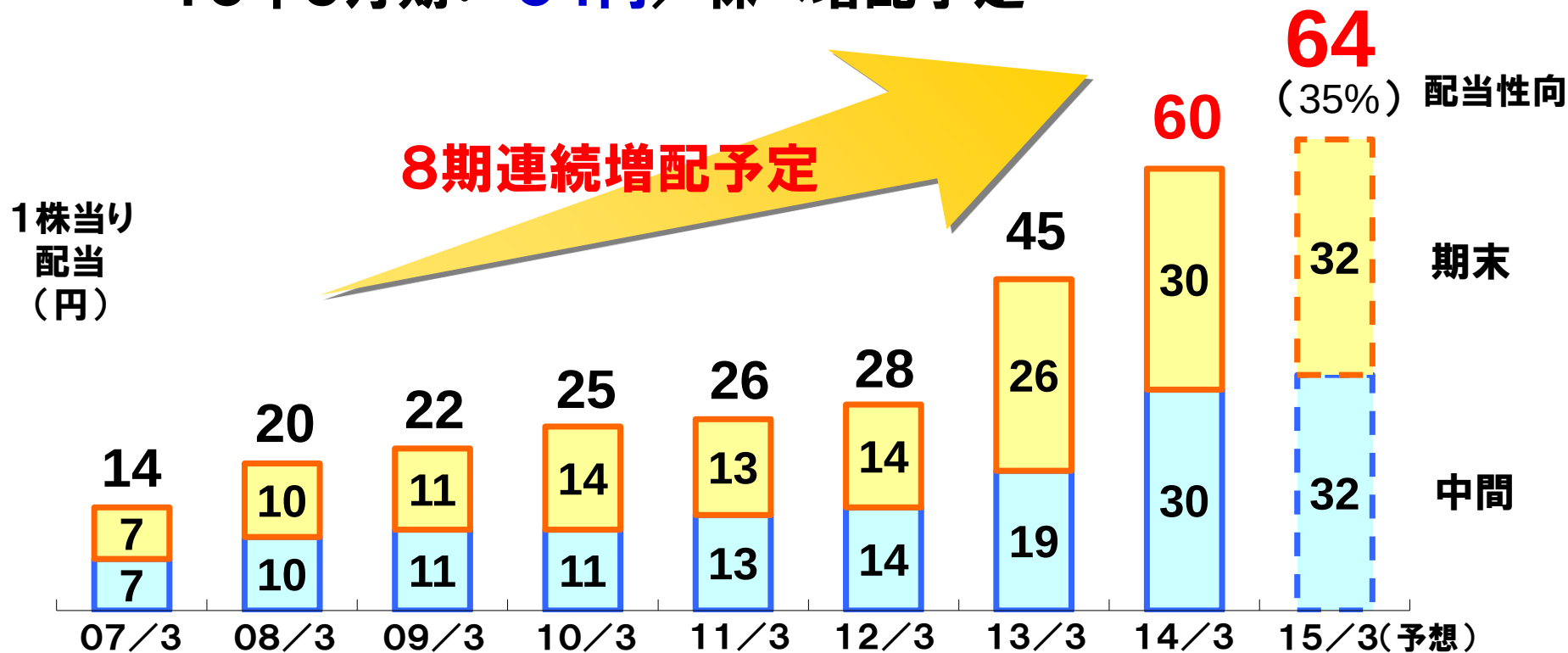
(単位:億円)



(※予想値は、2014年4月28日現在)

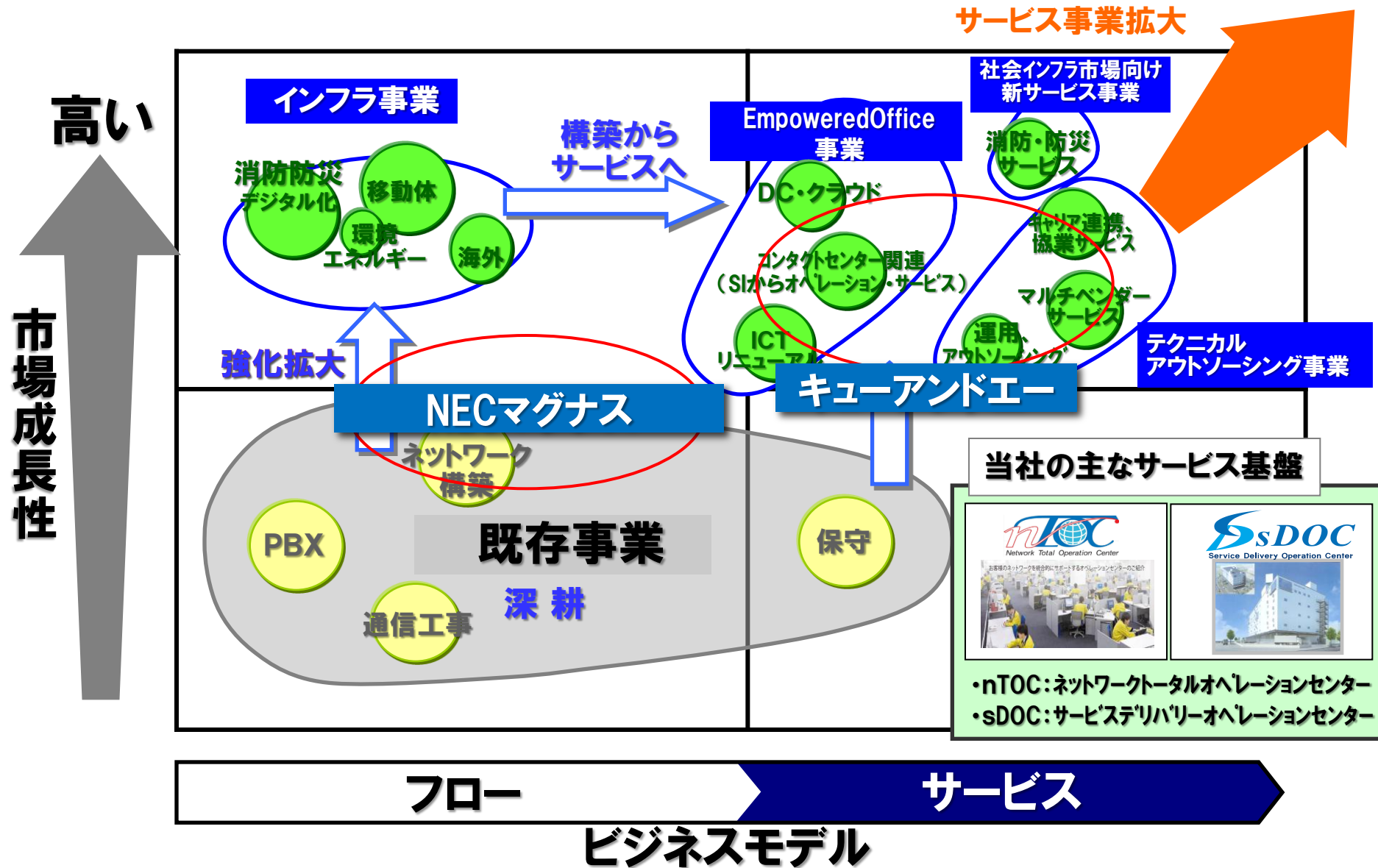
安定配当をベースに、利益拡大に伴い、株主還元を拡大

- 14年3月期：計画通り期末配当30円(年間60円)
- 15年3月期：64円／株へ増配予定



III. 中期経営計画の進捗状況 (～16年3月期)

重点事業領域(戦略マップ)

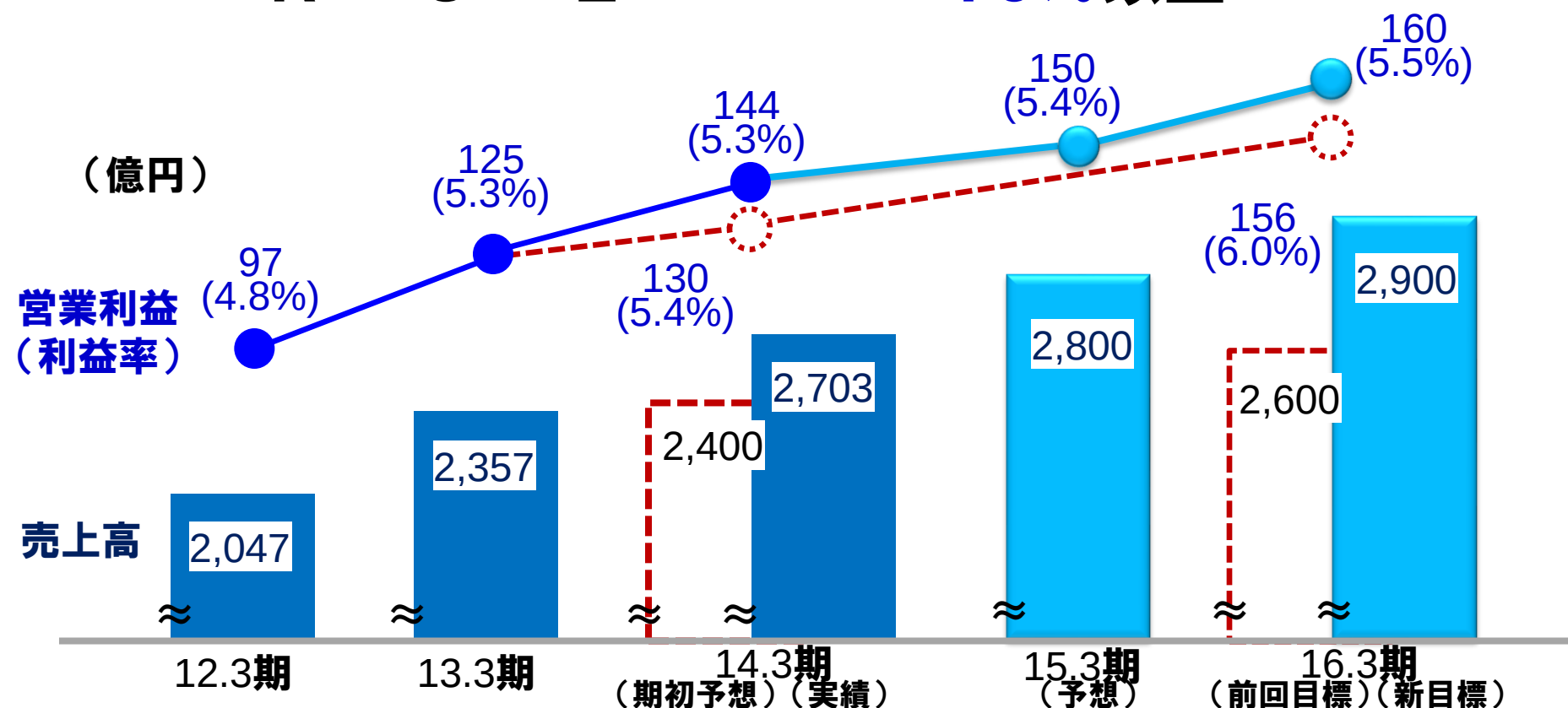


新中期経営目標<2016年3月期>

(※目標値は、2014年5月8日現在)

売上高
営業利益
営業利益率
ROE

2,900億円以上
160億円以上
5.5%以上
10%以上

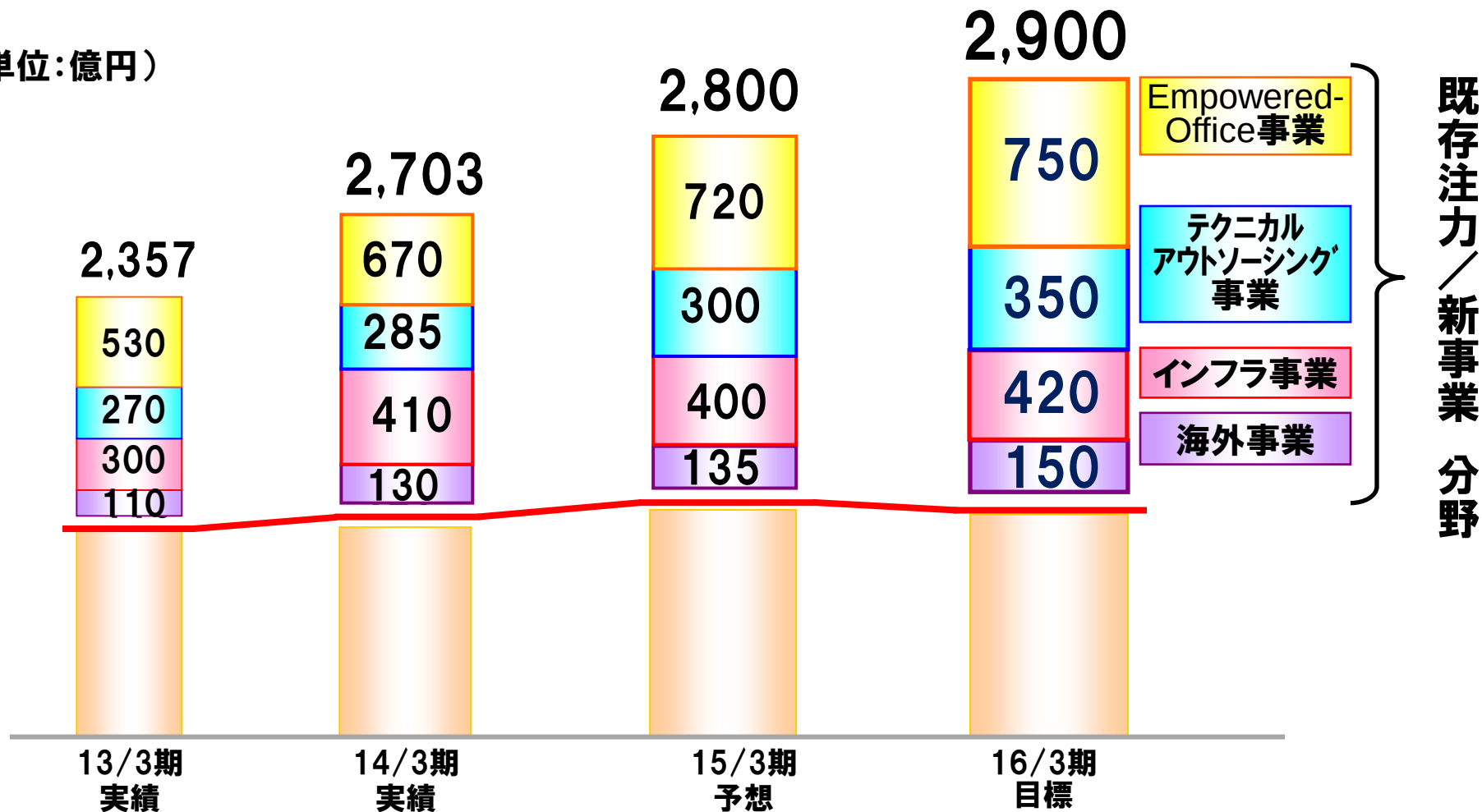


中期経営目標(事業分野別売上高)

(※目標値は、2014年5月8日現在)

注力分野の成長を加速

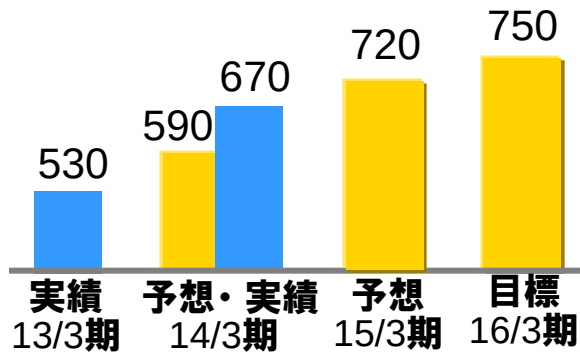
(単位:億円)



EmpoweredOffice事業

売上計画／実績

(単位:億円)



戦略

- **マーケット拡大**
 - ・地方・公共へのEO事業展開
 - ・オフィス市場深耕
- **サービス事業の拡大**
 - ・共通基盤連携強化
 - ・DC、クラウド事業の
取組み強化

中期経営計画達成に向けた進捗

● 地方でのEO事業 立ち上げ

当社の地域拠点のEO化を推進 (14/3迄に10箇所実施)

(事例紹介) 関西支社

最新ICT活用によるモバイルワークの実現

スマートデバイスをフルに活用し
ロケーションに依存しない働き方を実現



関西支社



→ 地方顧客へ提案活動による成果

EO案件、オフィス移転を受注

(14/3期実績10億円を皮切りに地域EOの具体化スタート)

● 飯田橋本社のEOCをリニューアル

→ エグゼクティブ層へのアプローチ増

【14/3期 ご来場いただいたお客様 社数】

本社 : 900社 (前年比+200社)

地域拠点: 400社 (前年比+300社)

本社
エグゼクティブEO

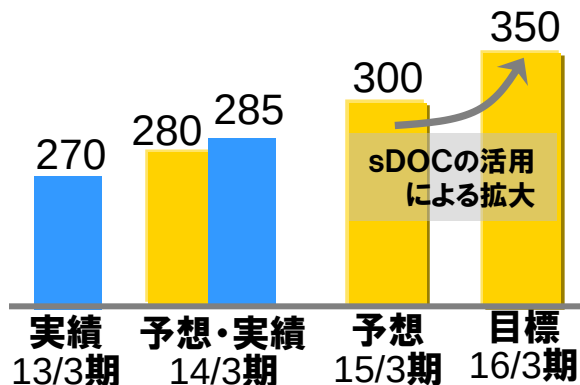


*EOC= EmpoweredOffice Center

テクニカルアウトソーシング事業

売上計画／実績

(単位:億円)



戦略

- 共通事業基盤の活用による事業拡大、効率化
- キャリア向け事業の深耕
- マーケット拡大
(キャリア⇒企業)

中期経営計画達成に向けた進捗

● 総合テクニカルセンター(呼称:sDOC)を6月オープン

狙い

- 当社の持つ技術ノウハウをソリューション化してお客様にサービス提供することで、BPO事業を拡大(テクニカルサポート機能とロジスティックス機能の融合)
→ sDOCを核に、300(15/3)⇒350億円(16/3)へ
特に中堅企業様、海外ベンダー様向け事業を拡大
- 物流基盤集約のコストダウン効果による競争力強化



効果:ランニングコスト 15%ダウン
(賃料、物流費/移転前との比較)

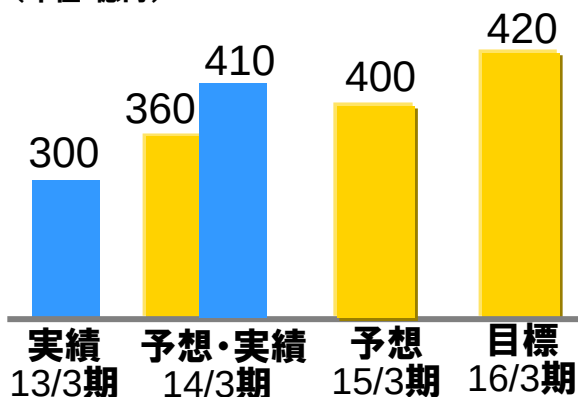
sDOC
Service Delivery Operation Center

□場所 東京都江東区辰巳
□面積 総面積 :約5,000坪

インフラ事業

売上計画／実績

(単位:億円)



戦略

- 移動体基地局関連事業
 - ・対応エリアの拡大及び既存エリア内のシェアアップ
 - ・事業統合シナジーによる売上拡大
- 消防・防災事業
 - ・消防・防災事業の既存事業領域におけるシェア拡大
 - ・消防新サービス事業の立ち上げ

中期経営計画達成に向けた進捗

● 移動体基地局関連事業

- ・中期的事業拡大に向けた旧NECモバイリングの基地局事業統合シナジーの加速

－工事／SI・エンジニアリングの一体組織化(4月)

－全国でのP／J対応力強化で大型減・単価下落をカバー
(新周波数帯、通信品質対応)

－次期サービス(VoLTE、LTE-A等)に向け領域拡大(マルチキャリア/インドア事業)

屋外局システム構築数
14/3→15/3:2.6倍

インドア事業
14/3→15/3:1.7倍

● 消防防災事業

- ・NECグループ連携での消防防災事業の拡大

当社シェア 20% (11/3期～14/3期累計)

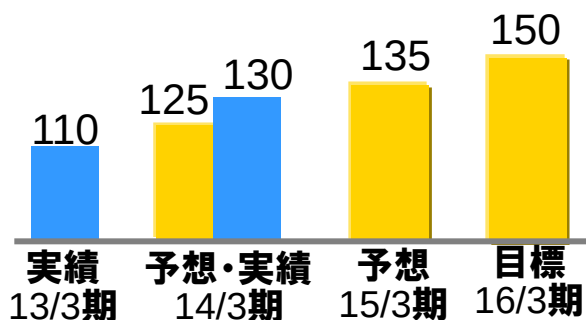
- ・消防事業における新サービス立ち上げ

－119番通報の多言語対応サービスを立ち上げ
－国土強靱政策による防災減災サービスを検討中
(情報配信の多様化、避難所向けソリューション)

海外事業

売上計画／実績

(単位:億円)



戦略

- アジア圏を中心とした
通信インフラ事業の拡大

(重点領域)

タイ ⇒ キャリア向け3G対応
フィリピン、シンガポール、インドネシア
⇒防災、鉄道

- 中国を軸にしたJOCへの
対応を強化

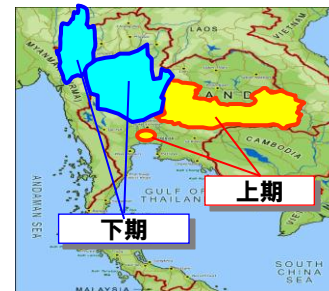
中期経営計画達成に向けた進捗

●通信インフラ事業の拡大

タイ：3G通信網構築PJ 約40億円

(上期:25億円、下期15億円)

タイの3G・対応地域



フィリピン：広域防災システム 約4億円

シンガポール他：鉄道関連システム 約6億円

ブラジル：国家ブロードバンド化計画に伴う
通信機器の移設PJ 約12億円

●JOC事業への取り組み

フィリピン：大手製造業工場向けの通信設備

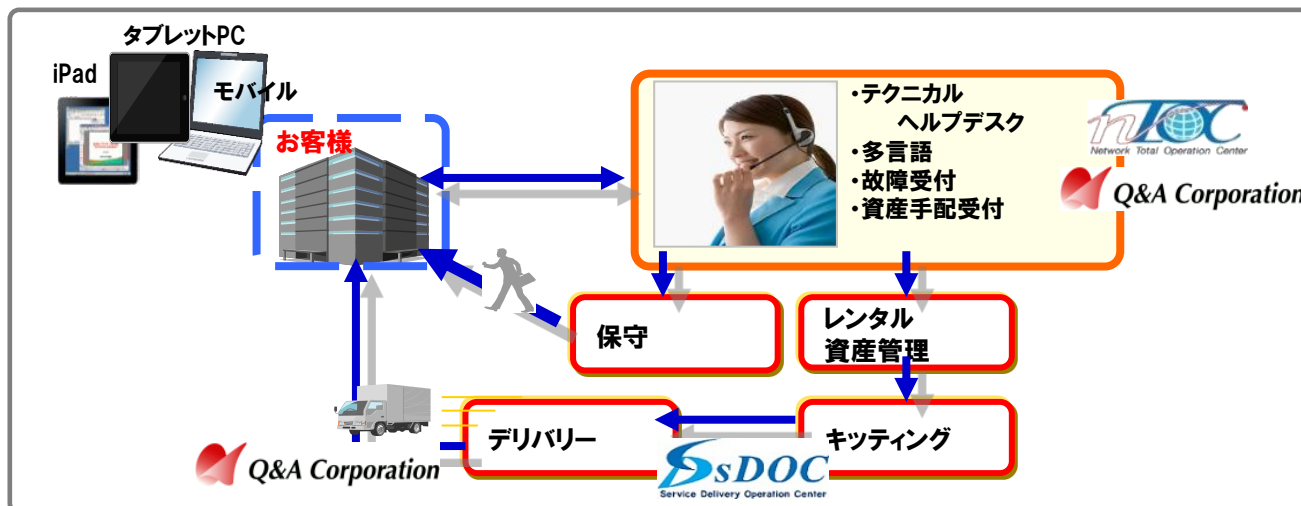
中国、香港：オフィス移転とEO化



当社のICT事業とキューアンドエー社の テクニカルサポート力を組み合わせた事業拡大

（事例）小売業向けの多店舗POS展開事業

- ⇒ キューアンドエーの市場競争力のある価格を強みに
全国多店舗に一斉展開
- ⇒ テクニカルサポート力を活用したヘルプデスクサービスの
BPO事業を受託



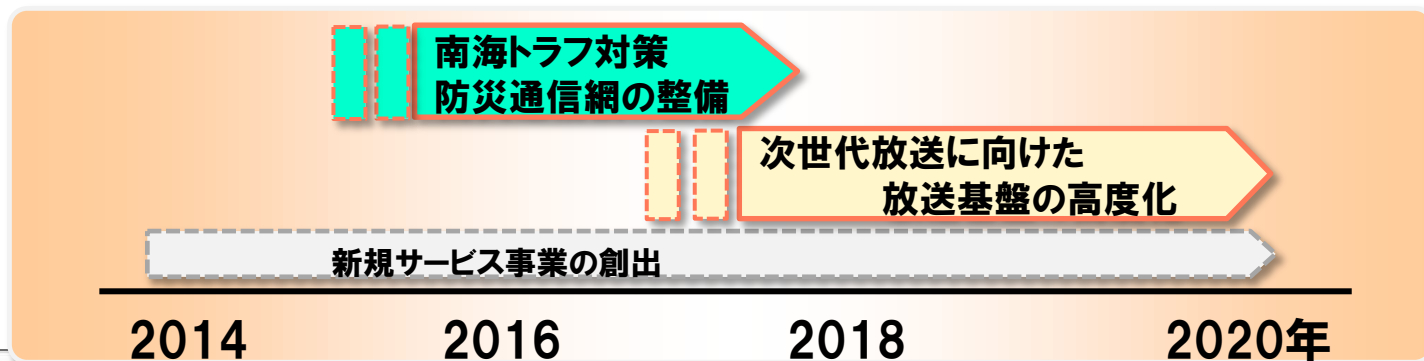
■ 中期的なCATVの事業機会をターゲットに NECマグナスと事業活動を推進

（市場動向）

- ・ 南海トラフ対策に伴う防災情報通信網の再整備
- ・ 次世代放送(4K、8K)に向けた通信網の高度化

⇒ 【当社の事業機会】

- ・ 伝送路の多重化、迂回化
- ・ 老朽伝送路のFTTH化が必須
- ・ 住民向け情報配信、告知サービスの多様化 等



最後に

業界トップを目指して、
まずは、踏上げた中期目標(16/3期)を必達

売 上 高	2,900億円以上
営 業 利 益	160億円以上
営 業 利 益 率	5.5%以上
R O E	10%以上

事業の成長

組織の成長

人の成長

コンプライアンス最優先の事業遂行

株主価値向上



明日のコミュニケーションをデザインする

**NECネットズエスアイは、お客様の目線に立った
これからのコミュニケーションをデザインする会社
としてお客様の価値向上に取り組んでまいります。**

nesic

検索



本資料についてのご注意

本資料に記載されている将来の業績等に関する見通しは、将来の予測であり、確定的な事実に基づかないために、リスクや不確定要因を含んでおり、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。

実際の業績は、様々な要因の変化により記載の見通しとは大きく異なる結果となりうることをご承知おき願います。

実際の業績に影響を与えうる重要な要因は、当社グループの事業を取り巻く経済情勢、社会的動向、当社グループの提供するシステムやサービスに対する需要動向や競争激化による価格下落圧力、市場対応能力などであります。

なお、業績に影響を与える要因はこれらに限定するものではありません。

NEC

NEC ネットワークスアイ株式会社

NEC Networks & System Integration Corporation

www.nesic.co.jp